



ザリガニ調査隊

～きれいな川で遊びたい！～

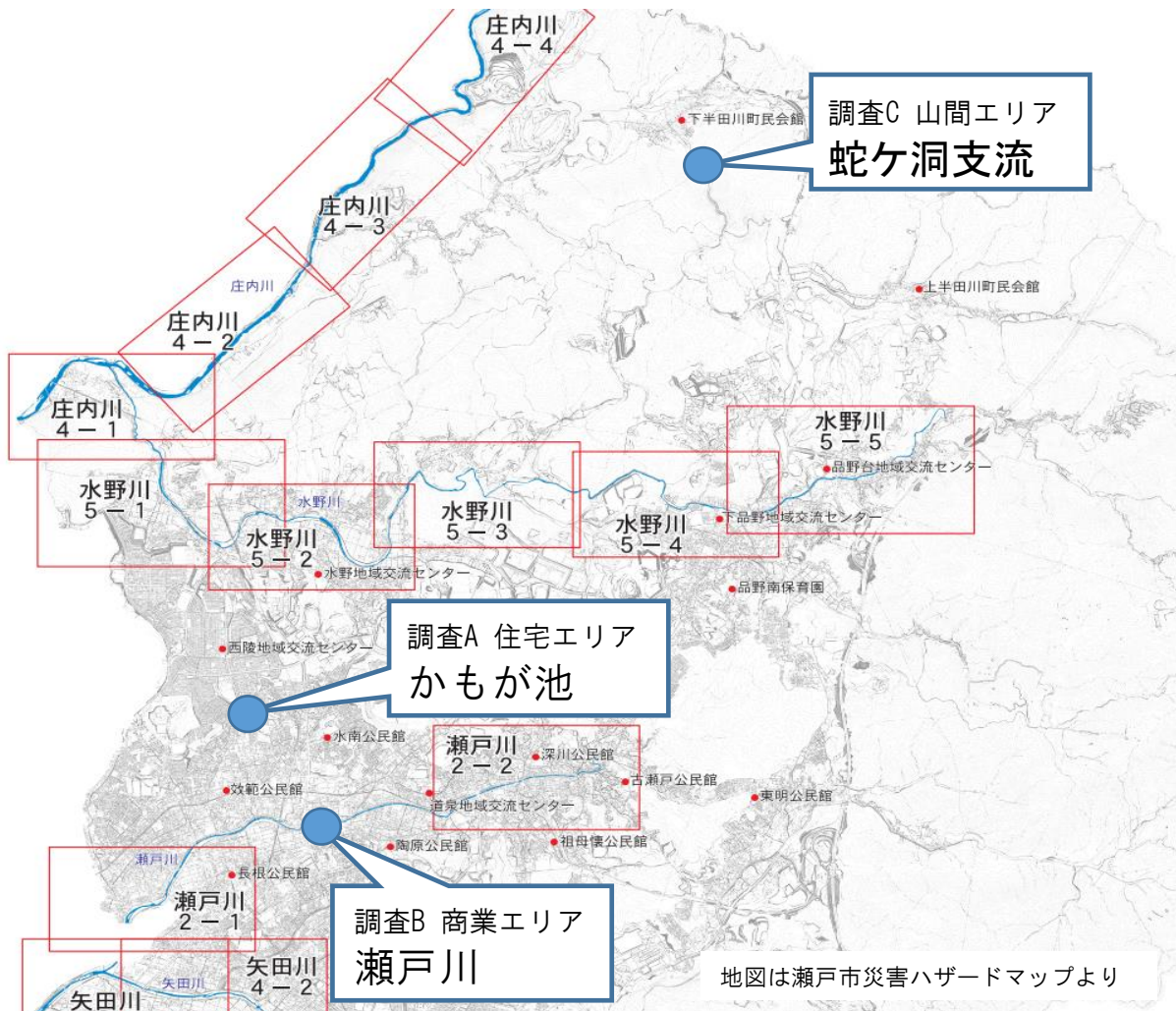
● 調査日	2020年10月25日（日）	13時～15時
● 調査場所	瀬戸市	①かもが池 ②瀬戸川中流域 ③蛇ヶ洞川支流
● 天気	晴れ	
● 子ども隊員	ひろふじ	がく 小2 むぎ 幼児
	にしじま	そうし 小2 ちひろ 幼児
	しばた	あきひと 小2 ともき 幼児
● 大人隊員	ひろふじ	パパ ママ
	にしじま	パパ ママ
	しばた	パパ ママ

はじめに

1 調査場所の選定理由

瀬戸市は尾張丘陵の一角に位置します。市を東西に流れる矢田川の支流瀬戸川を中心に、それを取り囲むように北部・東部・南東部にかけて山地が広がっています。西は名古屋市とつながる一方で、北部の下半田川にはオオサンショウウオが生息するなど、市全体で「里山」という地理的な性格を持っています。「人」から「自然」が車で20分ぐらいの距離という比較的狭いエリアというのも特徴です。

そこで「ザリガニ調査隊」は、A住宅エリア、B商業エリア、C山間エリア、それぞれを流れる川や池の水質を調べ、比べてみようと考えました。



2 調査方法

- ① 川や池の様子を観察
- ② 川や池で見られる生物を観察
- ③ 水質簡易測定試薬を使ったCOD調査
- ④ 手作り透視度計での透視度調査
- ⑤ 手作り流速計での流速調査

調査A 住宅エリア かもが池

1 かもが池

瀬戸市東山町2-132

東山小学校と元UFJ銀行瀬戸総合運動場（東山町2丁目）の間に造成された池。

池の周りに、遊歩道や東屋などが造られ、地域住民によって親しまれている。

大小2つの池からなり、東側の小さな池（池①）は山からの水が、西側の大きな池（池②）には池①からの水と生活排水が流れ込んでいる。

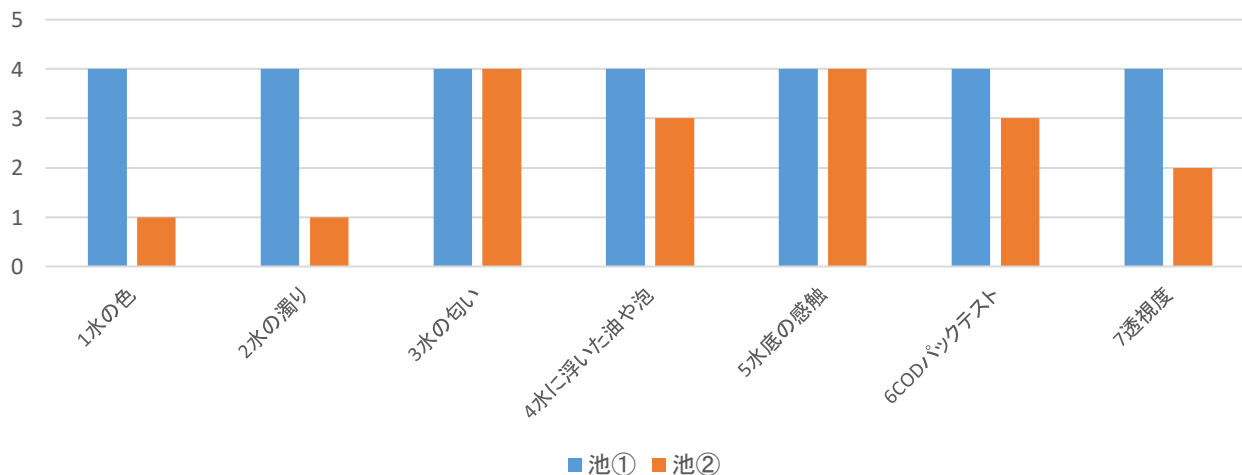


2 調査結果

調査1 水質関係

場所	調査項目	評点	コメント
池①	1 水の色	4	中間
	2 水の濁り	4	中間
	3 水の匂い	4	中間
	4 水に浮いた油や泡	4	中間
	5 水底の感触	4	中間
	6 CODパケットテスト	4	3mg/L以下
	7 透視度	4	60cm~80cm
池②	1 水の色	1	濃い緑色っぽい鼠色
	2 水の濁り	1	とても濁っている
	3 水の匂い	4	中間
	4 水に浮いた油や泡	3	泡が少しある
	5 水底の感触	4	中間
	6 CODパケットテスト	3	5mg/L以下
	7 透視度	2	20cm~40cm

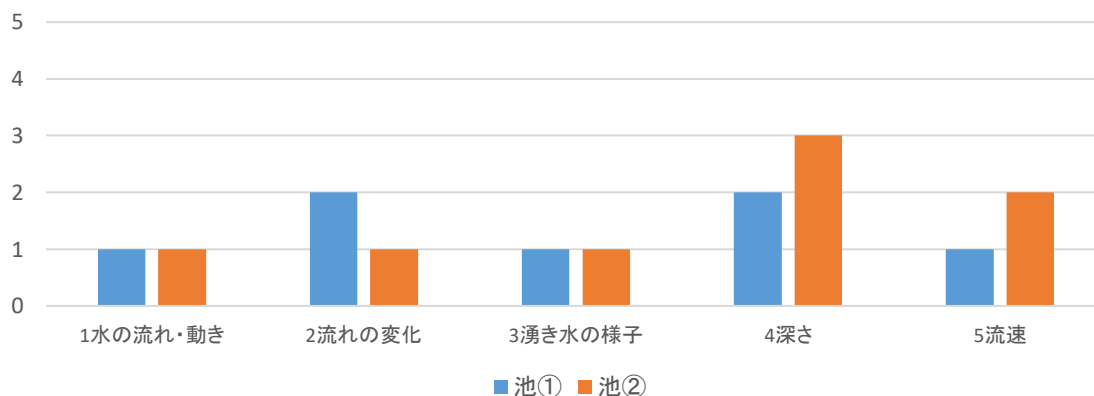
かもが池 調査1 水質関係



調査2 流速関係

場所	調査項目	評点	コメント
池①	1 水の流れ・動き	1	流れが殆どない
	2 流れの変化	2	中間
	3 湧き水の様子	1	目視では確認できず
	4 深さ	2	10cm~20cm
	5 流速	1	10cm/秒未満
池②	1 水の流れ・動き	1	流れが殆どない
	2 流れの変化	1	流れに変化がない
	3 湧き水の様子	1	目視では確認できず
	4 深さ	3	20cm~40cm (確認可能範囲)
	5 流速	2	10cm~20cm/秒未満

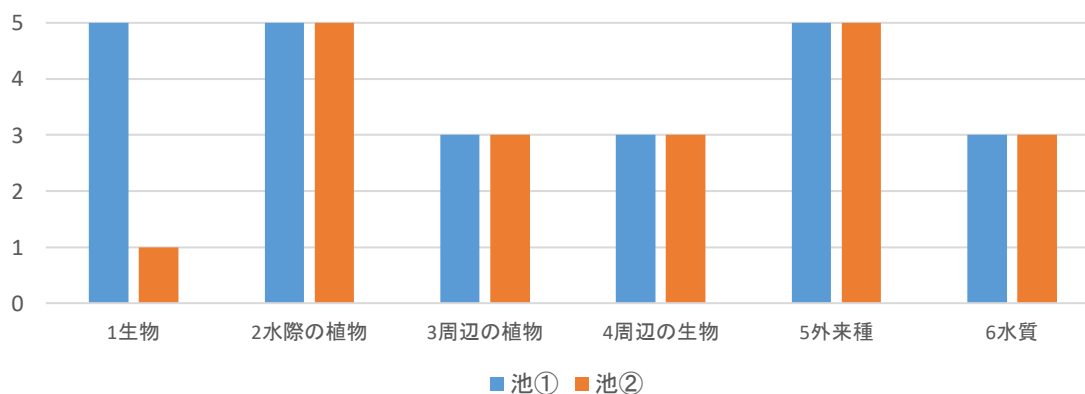
かもが池 調査2 流速



調査3 生物関係

場所	調査項目	評点	コメント
池①	1 生物	5	小魚 カエル ニホンザリガニ タニシ 二枚貝
	2 水際の植物	5	色々な植物が生えている
	3 周辺の植物	3	色々な植物が生えている
	4 周辺の生物	3	たまに生き物を見る
	5 外来種	5	確認できず
	6 水質	3	Ⅲ
池②	1 生物	1	確認できず
	2 水際の植物	5	色々な植物が生えている
	3 周辺の植物	3	色々な植物が生えている
	4 周辺の生物	3	たまに生き物を見る
	5 外来種	5	確認できず
	6 水質	3	Ⅲ

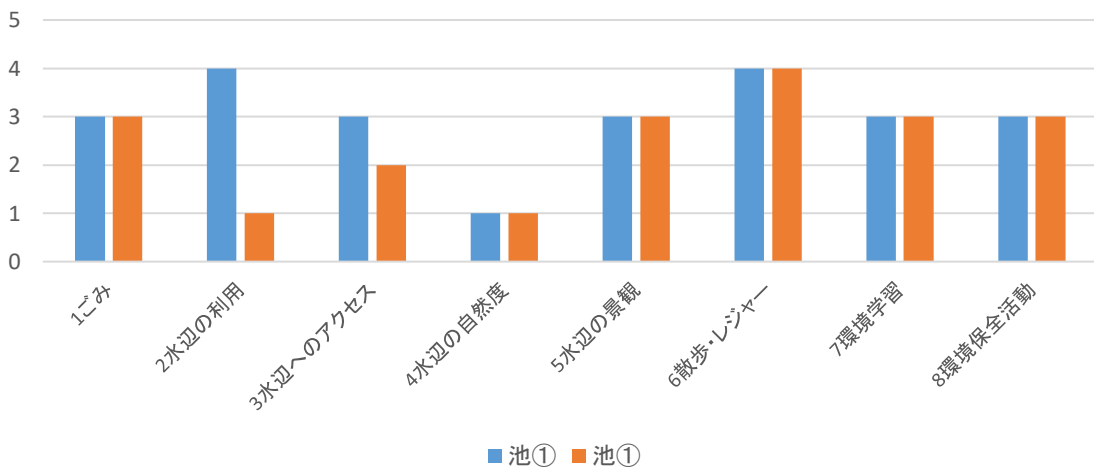
かもが池 調査3 生物



調査4 人との関り関係

場所	調査項目	評点	コメント
池①	1 ごみ	3	ごみがところどころある
	2 水辺の利用	4	中間
	3 水辺へのアクセス	3	水辺に近づけるところがある
	4 水辺の自然度	1	人工的な水辺
	5 水辺の景観	3	調和していないところもある
	6 散歩・レジャー	4	中間
	7 環境学習	3	時々利用されている
	8 環境保全活動	3	時々活動している人がいる
池②	1 ごみ	3	ごみがところどころある
	2 水辺の利用	1	近づきたくない
	3 水辺へのアクセス	2	中間
	4 水辺の自然度	1	人工的な水辺
	5 水辺の景観	3	調和していないところもある
	6 散歩・レジャー	4	中間
	7 環境学習	3	時々利用されている
	8 環境保全活動	3	時々活動している人がいる

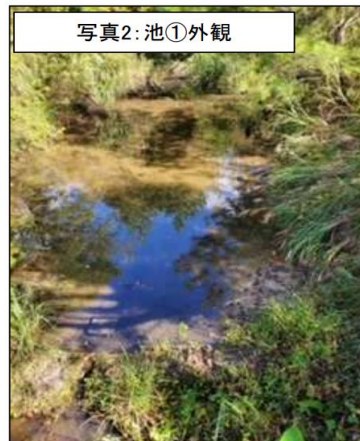
かもが池 調査4 人との関り



3 考察

池①は山からの水が主であることもあり、人工の池としてはキレイと言える。池②は①からの水と生活排水の混合であるため汚れも相応である。池①の水は通年干上がることはない。山の地下水の為と考えられる。そのためか、池②は夏季においても発生する臭気は悪臭とまではいかないレベルである。

隣り合っている池でありながら、水質や生物調査では顕著な差が出たことがおもしろかった。



調査B 商業エリア 瀬戸川

1 瀬戸川 調査場所 瀬戸市川端町1丁目31付近

庄内川水系矢田川支流の一級河川。

古瀬戸町において、紺屋田川と古瀬戸川が合流した地点から下流が瀬戸川とされる。かつては陶磁器工場の排水から「白い川」と呼ばれていた。

今回の調査地点は、瀬戸川の中流域。周囲には住宅、マンション、商業施設があ並ぶ。

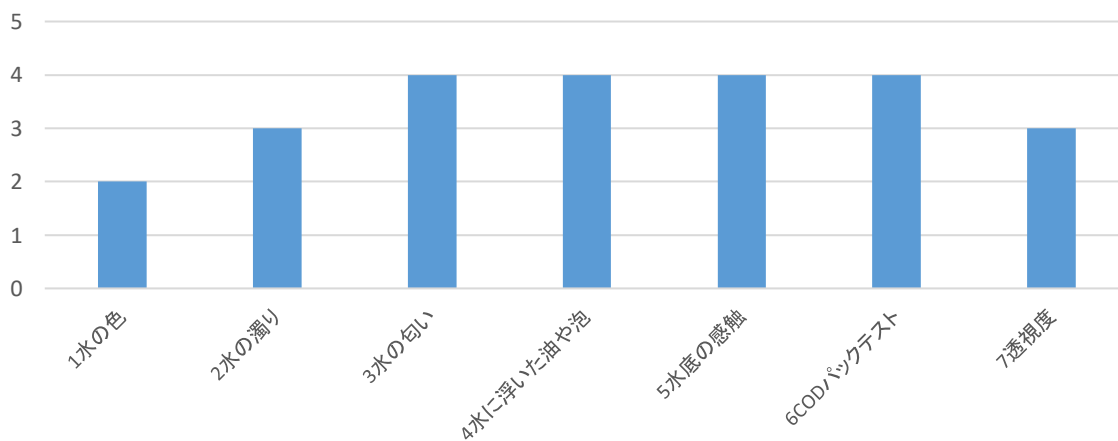


2 調査結果

調査1 水質関係

場所	調査項目	評点	コメント
瀬戸川	1 水の色	2	少し水に色がついている
	2 水の濁り	3	川底の石は見えるが、透明とはいいがたい
	3 水の匂い	4	ほぼ感じない
	4 水に浮いた油や泡	4	ほとんどない
	5 水底の感触	4	ぬるぬるを感じることはない
	6 CODパケットテスト	4	2mg/L以下
	7 透視度	3	35cm程度

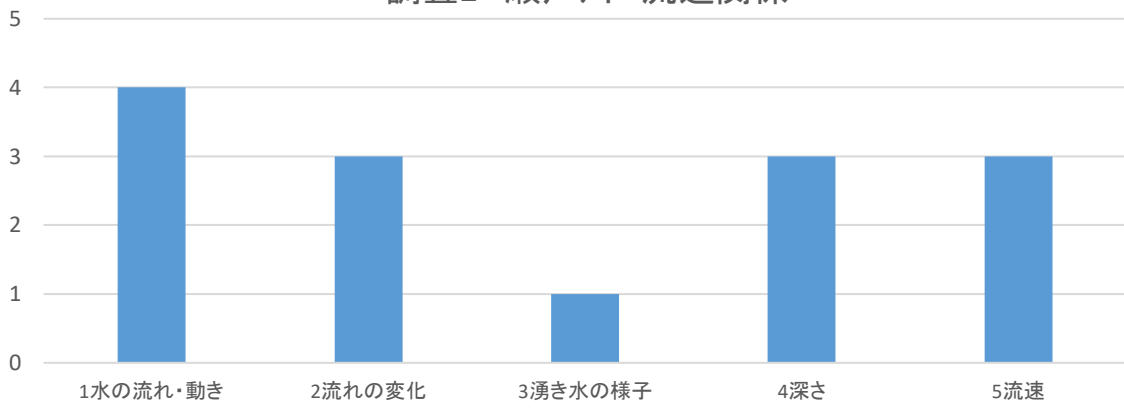
調査1 瀬戸川 水質関係



調査2 流速関係

場所	調査項目	評点	コメント
池①	1 水の流れ・動き	4	水面に波があるような流れ
	2 流れの変化	3	瀬・淵・ワンドなど多様な流れがある
	3 湧き水の様子	1	目視では確認できず
	4 深さ	3	40cm~60cm
	5 流速	3	20~40cm/秒

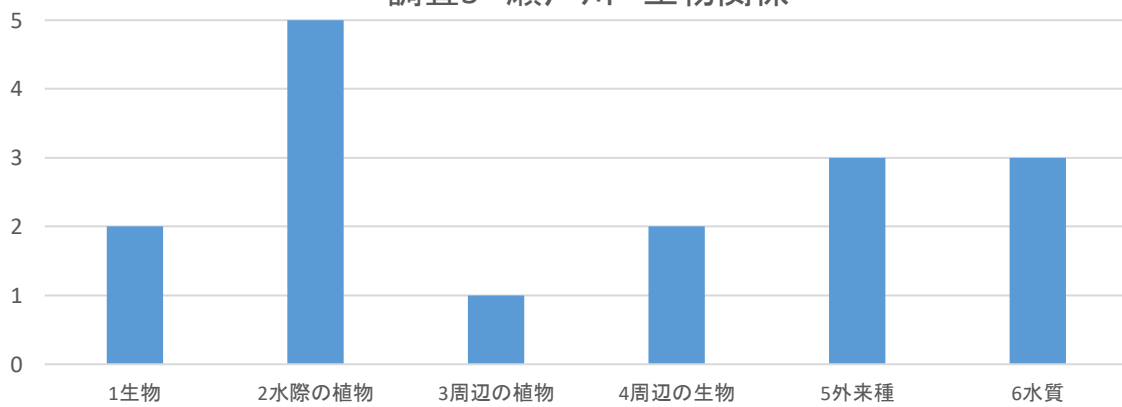
調査2 瀬戸川 流速関係



調査3 生物関係

場所	調査項目	評点	コメント
瀬戸川	1生物	2	鯉 小魚 貝類は確認できず
	2水際の植物	5	色々な植物が生えている
	3周辺の植物	1	街中なので植樹ぐらいしかない
	4周辺の生物	2	鳥ぐらいしか見ないが、カワセミがいる
	5外来種	3	確認できず
	6水質	3	Ⅲ

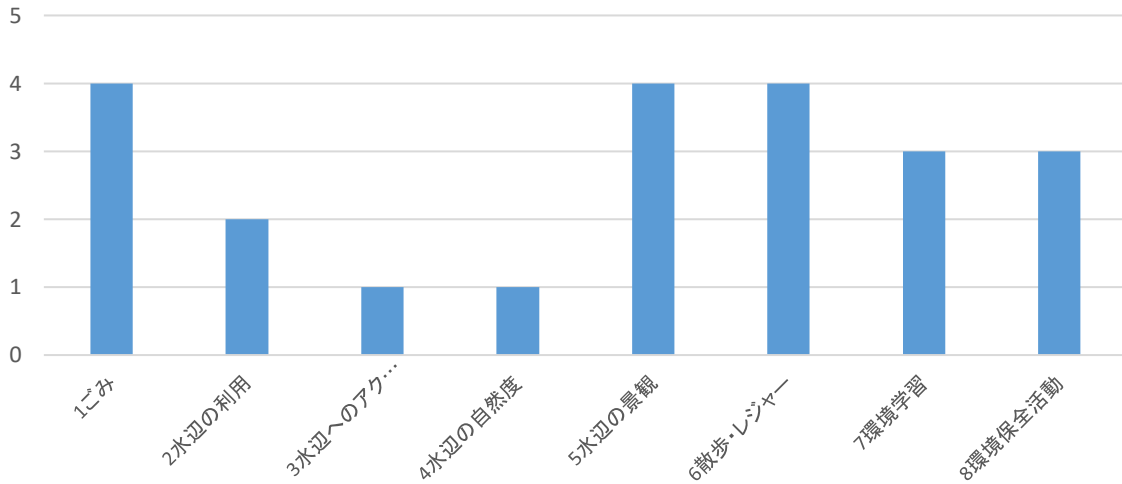
調査3 瀬戸川 生物関係



調査4 人との関り関係

場所	調査項目	評点	コメント
池①	1 ごみ	4	ほとんどなし
	2 水辺の利用	2	川の中に入って遊びたいが、降りにくい
	3 水辺へのアクセス	1	護岸されているので、水には触れにくい
	4 水辺の自然度	1	人工的な水辺
	5 水辺の景観	4	調和していて心地よい
	6 散歩・レジャー	4	遊歩道が整備されている 河川敷で遊べる
	7 環境学習	3	時々利用されている
	8 環境保全活動	3	活動している

調査4 瀬戸川 人との関り



3 考察

「白い川」と呼ばれていたことが嘘のような、現在の川の姿である。カワセミがその象徴のようである。護岸は防災上仕方ないと思うが、せつかく綺麗な川になったのだから、もっと水に触れられるような護岸はできないだろうか。

川の中に中州があり、そこに伏流水のような流れ（予想）で、土の中を流れて水が溜まっているところがあったが、その水はほとんど透明であった。自然のろ過装置のすごさを感じた。



流速計測中



自然のろ過装置

調査C 山間エリア 蛇ヶ洞川支流

1 蛇ヶ洞川支流

調査場所 瀬戸市下半田川町842付近

蛇ヶ洞川は支川延長9.6kmの庄内川支流である。上半田川町東部の山地を水源とする。国の天然記念物のオオサンショウウオが生息している。

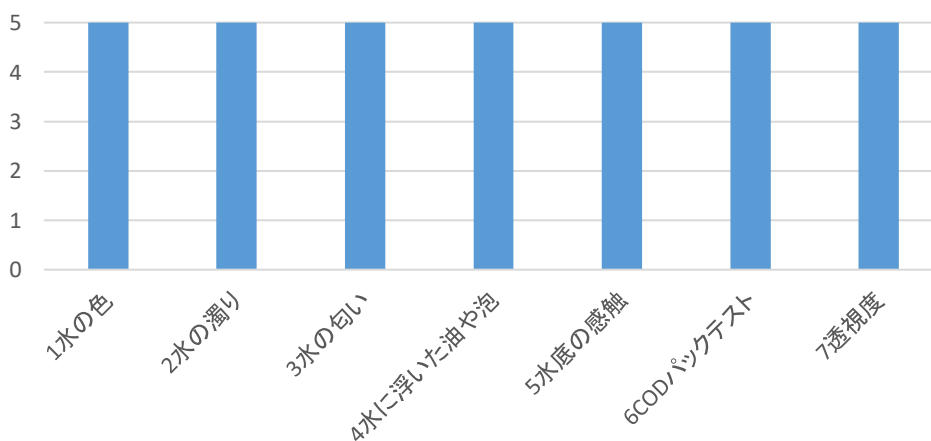


2 調査結果

調査1 水質関係

場所	調査項目	評点	コメント
蛇ヶ洞川	1 水の色	5	無色
	2 水の濁り	5	なし
	3 水の匂い	5	無臭
	4 水に浮いた油や泡	5	なし
	5 水底の感触	5	ぬめりなし
	6 CODバックテスト	5	1mg/L以下
	7 透視度	5	60cm以上

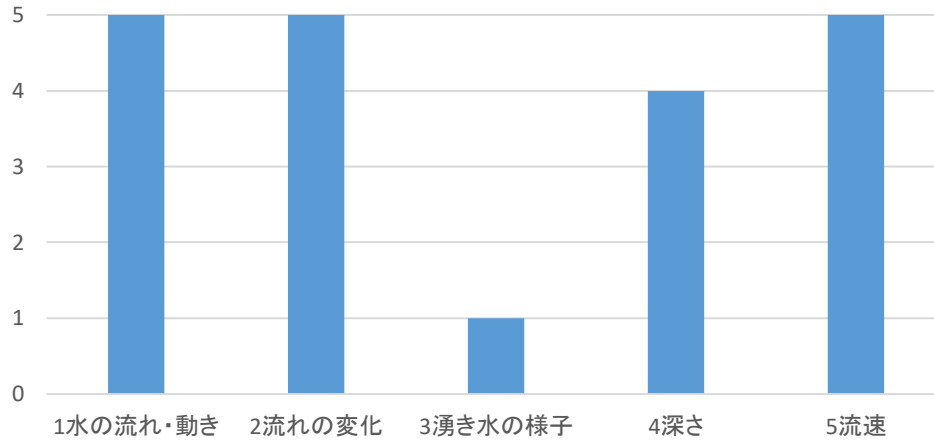
調査1 蛇ヶ洞川 水質関係



調査2 流速関係

場所	調査項目	評点	コメント
蛇ヶ洞川	1 水の流れ・動き	5	うねりや渦がある
	2 流れの変化	5	瀬・淵など多様な流れがある
	3 湧き水の様子	1	目視では確認できず
	4 深さ	4	45cm
	5 流速	5	55cm/秒

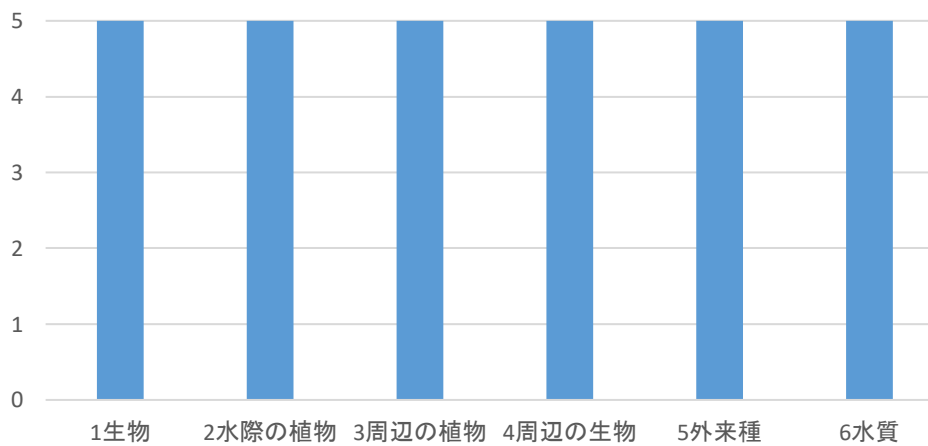
調査2 蛇ヶ洞川 流速関係



調査3 生物関係

場所	調査項目	評点	コメント
蛇ヶ洞川	1生物	5	サワガニ 小魚 カワニナ オオサンショウウオ
	2水際の植物	5	色々な植物が生えている
	3周辺の植物	5	色々な植物が生えている
	4周辺の生物	5	確認できていないが、多分多くいる
	5外来種	5	確認できず
	6水質	5	I

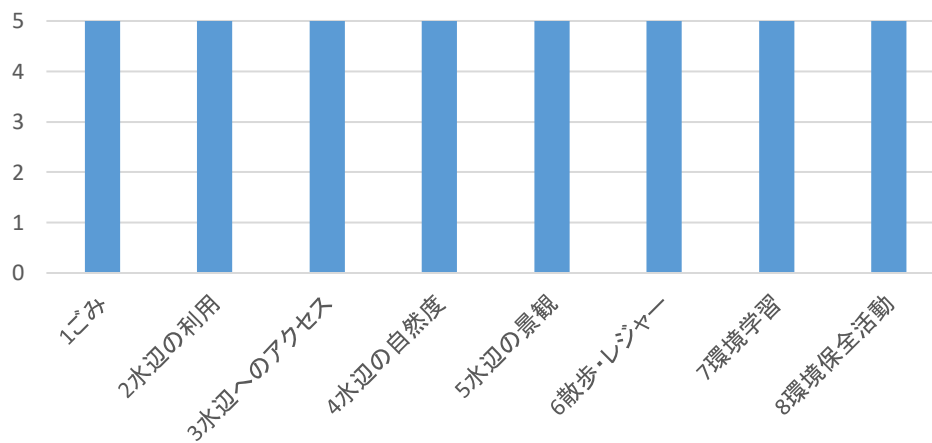
調査3 蛇ヶ洞川 生物関係



調査4 人との関り関係

場所	調査項目	評点	コメント
池①	1 ゴミ	5	ほとんどなし
	2 水辺の利用	5	川の中で遊びたくなる
	3 水辺へのアクセス	5	護岸と自然がほどよいので川に降りやすい
	4 水辺の自然度	5	里山
	5 水辺の景観	5	調和していて非常に心地よい
	6 散歩・レジャー	5	川岸は歩きやすい
	7 環境学習	5	オオサンショウウオをテーマにしている
	8 環境保全活動	5	オオサンショウウオをテーマにしている

調査4 蛇ヶ洞川 人との関り関係

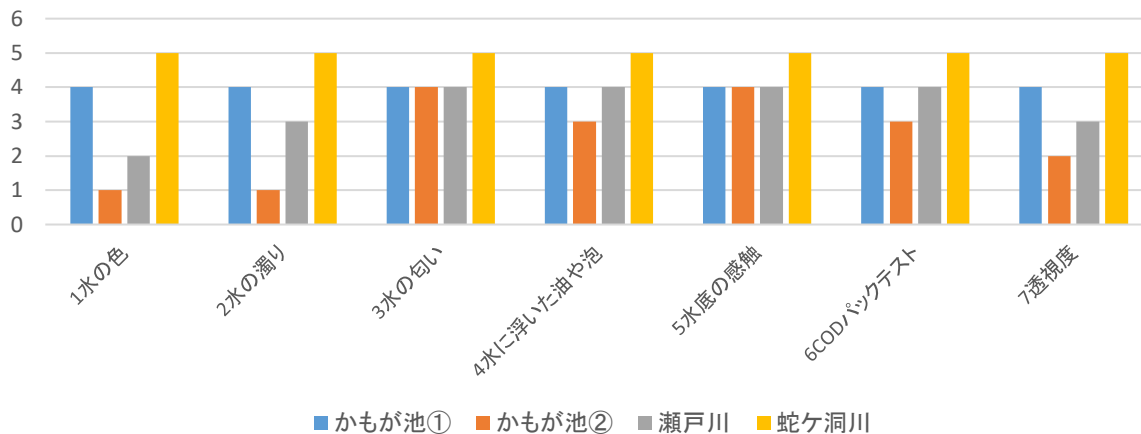


3 考察

オオサンショウウオが生息するだけあって、全ての項目で高評価であった。人々の暮らしも川と共にある印象を受けた。



調査1 水質関係調査結果比較



各調査結果を比較してみると、蛇ヶ洞川のきれいさが際立っているのが改めて感じられました。予想外に検討したのが、かもが池の上流にある池。水量や流れこそ少ないですが、水の綺麗さ、生物の多さの感覚は蛇ヶ洞川に近いものがありました。住宅地にありながら、やはり山（丘のような山であるが）からの水が流れ込んでいるおかげかなと思います。

川や池をきれいにするには、まず山を大切にすることから始めなければいけないあというのが、今回の調査で分かったことです。

人の生活が入り込む里山の山を、今以上に保全していけたら、めぐりめぐって海まできれいになるんだなと思いました。

私たちにできることは限られていますが、大人と子どもと一緒に自然の中で遊ぶことも環境保全の一つのあり方だと思います。肩肘を張らず、楽しく自然環境を守っていきたいです。

